

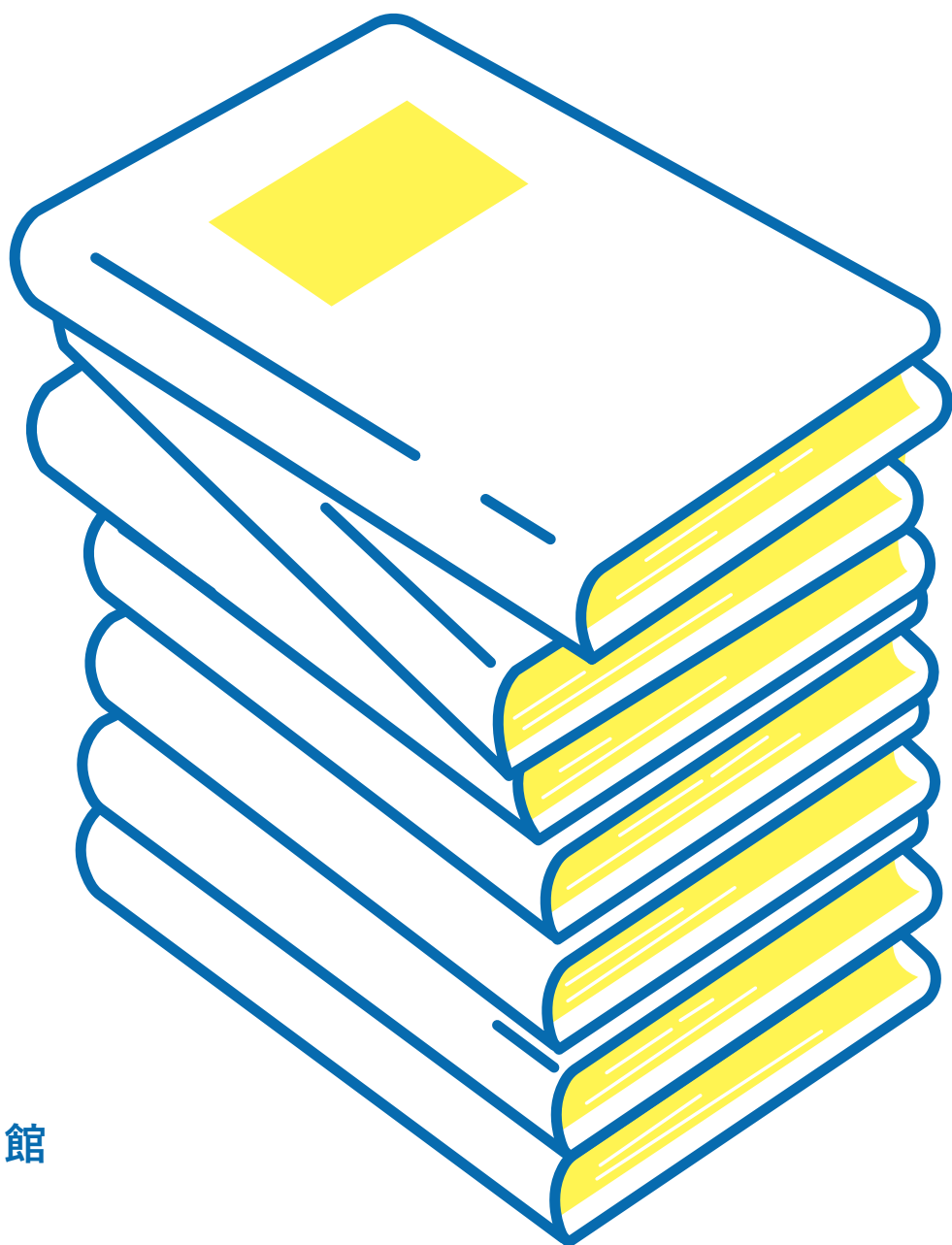
富山大学附属図書館概要

2020

中央図書館

医薬学図書館

芸術文化図書館



富山大学附属図書館

特殊コレクション

ヘルン文庫

・ヘルン文庫とは

「耳なし芳一」「雪女」などの「怪談」で知られるラフカディオ・ハーン (Lafcadio Hearn, 1850-1904: 日本に帰化して小泉八雲) の旧蔵書で、洋書 2,069 冊、和漢書 364 冊及び「日本: 一つの解明」(「神國日本」とも呼ばれる) の手書き原稿上下 2 冊約 1,200 枚からなっています。

洋書のうち 1,350 冊が英語、719 冊がフランス語の書物であり、これらの大部分はハーンが来日後に集めたものですが、中には彼がアメリカのシンシナティやニューオリンズ滞在中、貧しい記者生活のなかから買い求めたものもあります。

和漢書はセツ夫人の語りを通して、ハーンの文学的創作の資料となったもので、帝國文庫 38 冊のほか、滝沢馬琴、十返舎一九、山東京伝の怪談ものなど、大半は木版刷りの和装本からなっています。



ラフカディオ・ハーン



「神國日本」原稿



ヘルン文庫の蔵書棚



・ヘルン文庫の由来

「ヘルン文庫」の呼称は、八雲が最初に英語教師として赴任した松江中学校(島根県)で「ヘルン先生」と呼ばれ、妻のセツさんから「ヘルンさん」と呼ばれていたことに由来します。

1904(明治37)年に八雲が亡くなってからも、蔵書は小泉家に置かれていました。しかし、1923(大正12)年9月に起きた関東大震災で貴重な文献が多数焼失したことから、小泉家では安全に保管できる大学へ一括譲渡したいと考えようになりました。ちょうどその頃、富山では、のちに初代校長となる南日恒太郎氏を中心に、富山大学の前身校のひとつである旧制富山高等学校の設立準備が進められていました。南日氏は実弟でハーンの教え子である田部隆次氏から小泉家の意向を聞き、すぐに譲渡の申し入れをしました。新学校に優秀な教師を集め、当地の文化の中心とするに相応しい蔵書であると判断したのです。同時に、旧制富山高等学校の創設に私財を投じた馬場はる氏に寄付を仰いで、蔵書の購入が実現しました。1924(大正13)年、開校記念に馬場家から寄贈され、現在「ヘルン文庫」は富山大学に受け継がれています。

ヘルン文庫種類別内訳表

区分	英語本	フランス語本	合計
イギリス文学	260	0	260
アメリカ文学	38	0	38
フランス文学	0	282	282
その他外国文学	65	78	143
選集・批評・文学史	301	20	321
神話・民間伝承	24	74	98
歴史	76	119	195
哲学・宗教	156	45	201
東洋関係	101	67	168
言語・辞典	81	7	88
自然科学	109	16	125
その他	17	7	24
定期刊行物	100	4	104
ハーン著作	24	0	24
小計	1,352	719	2,071
和漢書			364
合計			2,435

川合文書

藩政期に砺波郡戸出村(現高岡市戸出)に居住した十村(加賀藩における大庄屋の呼称)、川合家に伝来した文書で、藩政初期から明治に至るまでの農政等に関する記録、3,128 点からなっています。

菊池文書

藩政期に砺波郡野尻村(現南砺市野尻)に居住した十村、菊池家に伝来した文書で、藩政初期から明治初期に至るまでの農政等に関する記録、2,130 点からなっています。

鷹栖文庫

旧砺波郡鷹栖村(現砺波市鷹栖)の幕末以降昭和 20 年代に至る約 100 年間の村政文書類、1,600 点からなっています。

朝鮮開化期大衆小説原本コレクション

朝鮮半島において 20 世紀初頭から多量に出版された廉価本のコレクションで、1902 年から 1978 年までの 234 冊からなっています(うち出版年不明 46 冊)。極彩色の絵が入った表紙が特徴的で、朝鮮語ではタクチ本と呼ばれています。新たに創作された小説、古典小説のリライト、国外の小説の翻案・翻訳小説など小説類が最も多く、他に笑話集、漢文や日本語の学習書、宗教書、各種の教養書など、多様なジャンルが含まれています。それまでの朝鮮書とは異なり、粗末な紙に金具止めで作られ、廉価な書物として多数出回りました。

